



ゴースト

レノルズ作 ないとうふみこ訳 こみねしよてん 小峰書店

父ちちちゃんは刑務所けいむしょにいる。おれと母かあちゃんを撃うつとした罪つみで。あの銃声じゅうせいをきいた瞬間しゆんかん、おれの逃にげ足あしはすく速はやくなった。おれが走はしりをおぼえたのはそのときだ。

ある日ひ、陸上競技場りくじょうきぎじやうじやうで選手せんしゆのひとりとして勝しょう負ぱいしたおれは、監督かんとくにさそわれ、生うまれて初めて「チーム」と名なのつくものに入はいることになった。そしてチームがおれの居場所いばしよになりはじめてたころ、おれは、ばかなあやまちをおかしていたことに気きづいたんだ。貧しい暮くらしのなかで悩なやんでいた少年しょうねんは、新しい世界あたらひせかいと出で会あう。

